

7、やさしいお店プロジェクト（ワーキング）

部会長 吉池隆幸（デフネット） 副部会長 小林俊夫（信濃の星ぐーと）

副部会長 大日方勇（(有)ドンキホーテ）

ケアマネ連絡会 奥村和枝（森と木バターデイズ） 田中みどり（南部障害者相談支援センター）

運営委員 岸田隆（森と木） 長野市障害福祉課担当者 穂苅修利

1、年間テーマ

やさしいお店登録制度の広報活動を通して、障害者差別解消法における不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供に努めることができる民間事業者を増やし、障害のある人の社会参加を応援することを目的とする。

2、部会等の開催状況

日時		会場	人数（人）	部会のテーマ	主な内容
月	日				
6	26	ドンキホーテ 上松店	7名	執行部	年間計画 登録状況の確認 運営委員会について
7	30	ふれあい福祉 センター	13名	今年度の活動について	登録状況の確認 タウンミーティングについて 広報活動について 委員会内の情報共有について
2	3	森と木	7名	執行部	現状報告 広報活動について 来年度の方向性

3、機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

別添資料：やさしいお店登録店一覧表

4、課題について

(1) 主な検討課題

- ①やさしいお店登録制度の広報活動
- ②タウンミーティング
- ②広報用チラシ及びポスターの作成

(2) 検討の目的と結果（現状）

- ①コロナ禍により、予定していたタウンミーティングを開催することができなかつたため、SNSでの発信を中心に広報活動を進めた。
- ②広報用チラシ及びポスターを作成した。

(3) 引き続き検討が必要とされる課題

- ①やさしいお店登録制度の広報活動と登録申請の促進

(4) 部会の運営体制について

福祉関係者に加えて飲食店経営者も執行部に加わることで、市内の店舗運営の状況を知ることができ、広報活動に役立った。

5、総括（1年間を振り返って）

コロナ禍により、飲食店等の経営が厳しい状況のなか、各種会合や直接訪問しての説明等も難しく、思うように広報活動が進まなかった。

タウンミーティングの開催を見送り、広報用のチラシとポスターを作成した。来年度の活動として配布予定。

SNSで登録店の紹介や制度の広報を行い問い合わせや登録申請数が伸びた。

